

**Parkinson's Disease Clinic and Research Center**  
**University of California, San Francisco**  
**505 Parnassus Ave., Rm. 795-M, Box 0114**  
**San Francisco, CA 94143-0114**  
**(415) 476-9276**  
**<http://pdcenter.neurology.ucsf.edu>**



## **Introduction to Parkinson's disease (Japanese)**

### **パーキンソン病の説明**

#### **パーキンソン病とは？**

パーキンソン病とは、緩慢な動作、震え、および、歩行異常または姿勢保持異常を特徴とする病気です。米国では75万人以上の患者さんがパーキンソン病を患っています。この病気は通常60歳台以上の方に発症しますが、20歳台の方にも発症することがあります。

#### **パーキンソン病の原因は？**

パーキンソン病は、黒質と呼ばれる脳の特定部位の神経細胞の減少により起きます。黒質中の細胞は、ドーパミンやその他の神経伝達物質を分泌することにより脳の他の運動制御センターに信号を伝えます。黒質細胞が死亡するとドーパミンの分泌が停止するため、他の運動制御センターが制御不能となります。パーキンソン病の主な症状（緩慢動作、震え、および、歩行異常または姿勢保持異常）は脳の運動制御センターにおけるこのような障害によって起こされるものです。

大部分の患者さんでは、何が黒質細胞の減少を起こすかは不明です。マンガン、一酸化炭素、稀にはある種の殺虫剤などの環境毒素がパーキンソン病に似た病気を起こすことが知られていますが、大多数のパーキンソン病患者さんはそれらの毒物にさらされていません。少数の家族では幾つかの遺伝子がパーキンソン病を起こすことがわかっていますが、これらの遺伝子異常は大多数のパーキンソン病患者さんには認められません。現在考えられているのは、大部分の患者さんの場合、パーキンソン病の原因は遺伝的因子と環境曝露の組み合わせによるのではということです。

#### **パーキンソン病の通常の経過は？**

パーキンソン病の最初の症状とその後の経過は患者さんによって大きく異なりますが、最も一般的な最初の症状は震えです。震えや緩慢動作を伴う症状は通常身体の片側で始まり、しばしば手か足に現れます。時間が経つにつれ（患者さんによっては5年以上）同じ側の無症状だった手か足、続いて反対側の手や足にも影響が現れます。病気が進行

するにつれ、身体の移動（椅子からの起立や歩行）が不自由になります。治療を受けている大多数の患者さんでは、パーキンソン病で寿命が短くなることはありません。

震え、緩慢動作、および姿勢保持異常の一般的な症状の他に、唾液の過剰分泌、柔らかい声、手足のつりなどの問題も発生します。うつ病や不安症、幾つかの睡眠障害もよくみられる症状です。便秘、頻尿、多汗、インポテンスなども発生します。パーキンソン病の患者さんの約 30%に記憶力の変化や知的機能の変化が現れます。

パーキンソン病の多くの症状に対して様々な治療が可能です。そうした治療には、一般的な内科的治療、物理療法、言語療法のほか、幾つかの薬物療法が含まれます。進行したパーキンソン病の症状を現す患者さんの場合、手術療法が適切です。パーキンソン病の治療は一人一人の患者さんに合わせて行われ、一般的な健康状態や患者さんの症状などを含めた幾つかの要素を考慮して治療が選択されます。現在、パーキンソン病の新しい治療法がいくつか開発中です。

*Copyright © 2005, The Regents of the University of California*